

赤ちゃんを研究する

2017年 2月 18日 (土) 13時~18時 (開場 12時)

東京大学 安田講堂

東京大学には、ヒトの進化・発達を研究している研究室がいくつかあります。
基礎科学の立場から、赤ちゃんの行動、言語、脳神経系の発達
を解明しようとしている研究者が集まって、これまでに分かったこと、
今注目して取り組んでいること、これから明らかにしたいこと等を自由に語ります。

13:00-13:50

教育学研究科
多賀 徹太郎
研究室

多賀 徹太郎 赤ちゃん物理学
渡辺 はま 赤ちゃんの頭の中
儀間 裕貴 赤ちゃんの動き

(15:10-15:30 休憩)

15:30-16:20

教育学研究科
針生 悦子
研究室

針生 悦子 子どもの言語学習において助詞など細かな部分の果たす役割
金重 利典 乳児における表情理解の発達—笑顔と怒り顔についての検討—
山本 寿子 子どものアクセントの獲得—"雨"と"飴"は何が違う?—

16:20-17:10

総合文化研究科
岡ノ谷 一夫
研究室

岡ノ谷 一夫 新生児による音列の統計的分節化
結城 笙子 動物のメタ認知の成立要件
齋藤 優実 動物の情動伝染の認知バイアス測定

(17:10-17:30 休憩)

17:30-18:00

討論

「何が分かっていないのか？」

多賀 × 佐々木 × 開 × 針生 × 岡ノ谷

《後援》 日本心理学会・日本発達心理学会・

(申請中・順不同) 日本赤ちゃん学会・日本子ども学会・日本認知科学会

申し込み・問い合わせ先

東京大学大学院教育学研究科附属
発達保育実践政策学センター (Cedep)
e-mail : cedep@p.u-tokyo.ac.jp

事前申し込み制：定員 1,000 名 (定員に達し次第、申し込みを締め切ります)

学生 (学部学生、大学院生、各種学校学生等) の参加、大歓迎



センターサイトよりお申し込みください
<http://www.cedep.p.u-tokyo.ac.jp>